

綾部移住希望者のための



# ココらんんの 教科書

vol.4



綾部で暮らしたいと  
チラッとでも  
考えたアナタに

あやべ市民新聞社

## 最強のセキユリティ

農村部では住民じゃない見知らぬ人が歩いていると必ず誰かが見ていて「あれ誰や?」と話題になるんだよ。ほかにもね、留守中に見慣れないクルマが家に停まっていたりすると、あとで「あんたの家に客が来てみたいやで」と近所の人が教えてくれる。これってすごいと思わない? だって考えてみればこれ以上のセキユリティはないんだもの。

空き巣もこんなに商売をやりにくい環境はないんじゃないかな。みんなが顔見知りで、常にお互いの存在を感じながら暮らしているからこそだよ。薪ストーブを焚いた次の日に「昨日はずっと家におったみたいやな」と言われたりする。煙突から上がる煙をみんな見てるわけ。ははは!

### コラム

## 田舎に住むということ



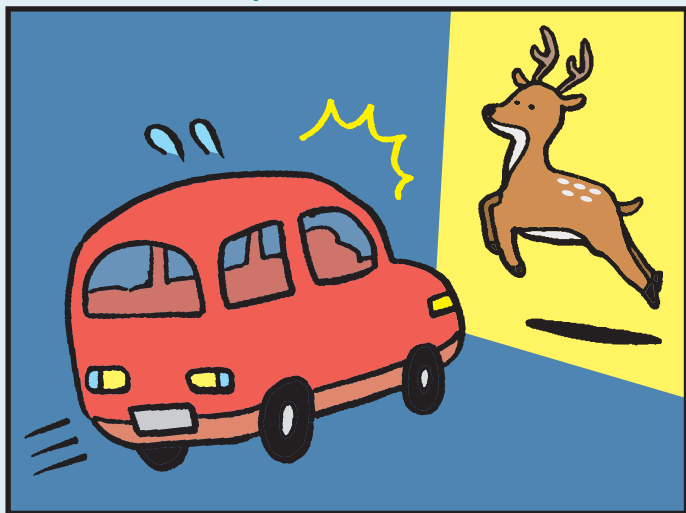
このうの父ちゃん

でもね、こないだ畑にダイコンのタネを蒔いたんだよ。そして次の日に近所の人から「去年よりダイコン増やしたんやね」と言われました! えー、なんで知ってるの!?

まあこんなのが日常で、楽しくやっています(笑)。



# 綾部 あるある 体験談



夜の山道で、突然飛び出てきた鹿とぶつかりそうになったという話をよく聞きます。田舎の夜道は暗いため、特に安全運転を心がけています。(Hさん)

## こころちゃん流〈糸多住のススメ〉

### 綾部に住むとこんなにいい！

地元産の採れたて野菜も、舞鶴から直送されてくる魚介類も新鮮で安い。野菜は無農薬で作っている農家も多いよ。

農村部で暮らせばご近所さんが野菜をおすそ分けしてくれたり、山菜などもたくさん採れたりして食べ物事情はすこぶる良いの。良い食材が手に入ったら手間ひまかけて料理したくなる

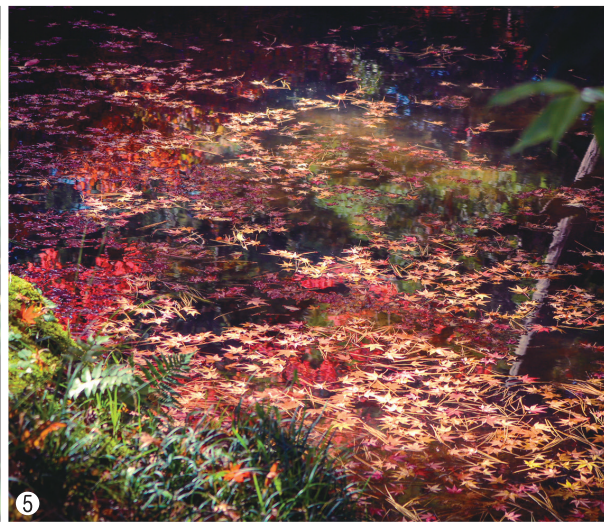
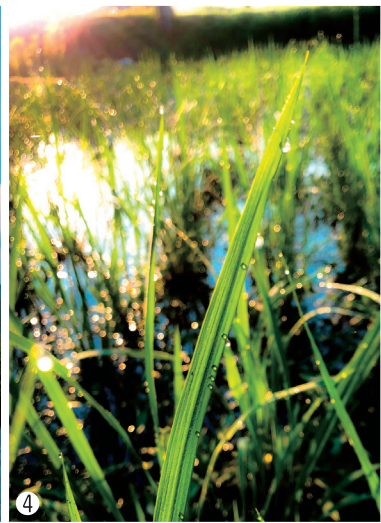
のが人情。田舎では丁寧な暮らしをするのがよく似合うね。

旬の新鮮なものを食べるのがどれだけおいしくて、どれだけ体が喜ぶか、一度覚えたらやめられないよ。



こころちゃん

親子で綾部に移住してきた女の子。おてんばで自然の中で遊ぶの大好き。



キャプション

1. 里山に春の花が満開
2. 田植えの準備に忙しい里山
3. 由良川を渡る櫓舟と入道雲
4. 稲の葉に降りた朝露
5. 水面の紅葉は一幅の絵
6. 真冬の古民家
7. 鏡のような由良川と夕景
8. ススキとセイタカアワダチソウの競争
9. 霧と月のような朝日

※写真は全て綾部市内で撮影したもの

# あやべ市民新聞

1983年に創刊した綾部を代表するローカルメディア。綾部市全域で販売され、市民に寄り添う新聞として幅広い世代に愛されています。

## 新聞コーナー紹介

▼▼▼▼▼  
 無料で掲載  
 お願いいたします

譲りたいもの、譲ってほしいものがあるときは、このコーナーの活用をオススメ！  
 手に入れにくいものも運が良ければ安価もしくは無料で譲ってもらえるかもしれません。大きいものでは家具から車や農機具、はたまた猫までいろいろ。  
 コーナーを活用した方々からは「掲載後すぐに反響があった！」との声を多数いただいています。  
 掲載料は無料。



綾部近隣のまちな動向が分かる！  
 経済情報からお出かけ情報まで幅広く載っています。

満1歳になりました

綾部市内でスクスクと育つ子ども達を紹介。1歳になった記念に子ども写真、親からのメッセージを添えて掲載します。  
 掲載紙は1部プレゼントいたします。  
 掲載料は無料。



市民のみなさんから寄せられたコラムを無料掲載。時事ネタやその時々々の想いをしたためられています。

あやべ文芸

綾部の市民サークルなどから寄せられた俳句、短歌などを掲載。趣向を凝らした作品が並びます。

発行は毎週 月・水・金の夕刊

購読料は(税込み)

月 990 円

市外への発送もOK!

月 1,140 円

郵送料込み

送料の7割は弊社が負担



あやべ市民新聞社と北近畿経済新聞社の社員による日々の徒然小ネタ集。朝礼の恒例でもある社員スピーチがそのまま記事に。

次号をお楽しみに！



(株)あやべ市民新聞社

〒623-0046 綾部市大島町沓田4-3

☎0773-42-1125

あやべ市民新聞

検索